

1	研究名	CTによる尿管癌のT因子診断の検討
2	目的	尿管癌において、CT診断にて術前に正しくT2以下とT3以上を判別するためのT因子診断の基準を確立することです。
3	対象	2003年1月～2013年10月の間、本院において造影CTが施行され、手術所見・病理所見で尿管癌と診断された方の撮影ずみの画像を用いて検討を行います。
4	期間	2016年3月31日まで
5	担当	放射線診断科 本田有紀子
6	個人情報に関する考え方	研究の際には症例の個人情報は匿名化されます。また、コンピュータ上ではパスワード設定なども行い、個人情報が漏れることがないように留意します。
7	発表	学会、誌上で発表を予定していますが、個人の特定できる形の発表はありません。